

第六回

令和元年度 がん川柳集

がん川柳五・七・五

がん患者の思いを川柳にのせて

独立行政法人 国立病院機構

大分医療センター

もくじ

刊行にあたって

院長 あいさつ…………… 1

総合支援センター長 あいさつ…………… 2

緩和ケアチームリーダー あいさつ…………… 2

優秀作品…………… 3

がん川柳作品…………… 9

「がん患者の思いを川柳にのせて」

がん川柳の啓発活動…………… 28

これまでのがん川柳啓発活動…………… 29

応募規約…………… 32

あなたの一句を…………… 33

おわりに…………… 34

各作品は、原文のまま掲載させて
頂いております。

刊行にあたって



院長
明秀 穴井

第六回のがん川柳集はコロナ禍のため、遅くなりました。お詫び申し上げます。当院は令和二年三月と十二月二度の新型コロナウイルスによるクラスター発生を経験しました。当院と職員に対する誹謗中傷や風評被害もたくさんありました。日本赤十字社より新型コロナウイルスウィルス三つの感染症の「顔」を知ろうというのがあります。第一の感染症は当然「病氣」

です。第二の感染症は未知のウイルスに対する「不安」です。第三の感染症は「差別」です。この怖さは病氣が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病氣の拡散につながることで、目に見えない敵への恐怖が蔓延してまいりました。

それに引き換え、がん川柳は患者さんそして、ご家族それぞれが、お互いを思いやり、寄り添い、気持ち共感できる素晴らしいコミュニケーションだと思えます。コロナ禍の殺伐とした社会の中で、がん川柳によって心の潤いを感じました。忘募していただきました全ての皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。

がんに病んでいる方、そのご家族、関係する医療スタッフの方々にご院の基本理念のよう
に、「愛の心・手」で寄り添っていききたいと思っ
ています。

皆さんどうぞ一読ください。



総合支援センター長
奈須 伸吉

今年も、がん川柳に多数のご投稿を頂き大変ありがとうございました。心に響く句がとても多く、優秀作を選定するのにとても迷いました。この句集をこー読いただければきっと、がん治療をされている患者さんとそのご家族のお気持ちを共感して、少しでも寄り添うことが出来るのではないかと思います。



緩和ケアチームリーダー
高祖 英典

今回も皆様のご協力により「がん川柳集」を発行することが出来ましたことを感謝申し上げます。この取り組みを継続して患者さんやご家族の思いを汲み取る努力を続けながら、まだ表せられない思いがないか引き続き検討し、和らげていくことが出来るように取り組んでいこうと考えております。今後も皆様のさらなるご支援をよろしく願っています。

優
秀
作
品

優秀作品賞

前向きに

生きる夫に

そつと手を

大分県
プリン

●作者からのメッセージ

病院で主治医の先生よりガン告知ステージ4余命5年と宣告を受け頭の中が真っ白になり自宅に帰り着いた途端涙が止まりません眠れない日が何日も何日も続き夫の顔を見ると胸が痛みます。私は何も出来ずそつと夫に寄り添う事しか出来ませんでした。でも夫は何事もなかったように辛い治療を頑張っていました何事にも前向きに取り組む強い意志を持ってる人でした。そんな時入院中ガン川柳に出会い自分の気持ちを川柳に詠み元気をもらっていました。第2回のガン川柳で優秀作品賞を戴きとても喜んでいました。

検診の度に異常が無く元気に成って行くのを2人で喜び合い安心していました。後少しで5年だねと言った矢先ガンが再発入院一進一退…家族の願いもむなしく死へと旅立っていきました。

入院中は主治医の先生 看護師の皆様には心のこもったお話をしていただき本当に有り難うございました。お礼申し上げます。

優秀作品賞

手術おえ

医師の笑顔に

涙ふく

大分県

● 作者からのメッセージ

結婚 50 年若い頃主人は県内一周駅伝の選手 それが 16 年前脳梗塞で半身不随 6 年前に 喉頭癌で入院 その時の主治医の先生やさしい笑顔言葉遣い暗い心も明るくなりました。先生「スタッフ」の皆さんの心交す気持どれだけいやされたか分かりません今でも涙が出ます 病気は気持が半分あるのかと思いつつ…… 今回は私の句が賞を頂き仕事介護に頑張っています 本当に有難うございました。

優秀作品賞

がんになり

負けない心

生き帰る

大分県 はまちちゃん
(がん歴20年)

● 作者からのメッセージ

私は、第6回がん川柳の優秀作品賞を受賞し、がんに負けまいと誓った矢先、今年9月5回目のがん宣告を受け、一時は自信喪失になりましたが、入賞作品に励まされながら、今は、闘病生活に真向から対峙しています。

優秀作品賞

闘病の

こころを支える

体験談

埼玉県

乳母車の弥七

優秀作品賞

告知され

やりたいことが

増えていく

兵庫県 おさり

が
ん
川
柳
作
品

活したい

祈る家族に

励ましを

愛知県 三河の空

苦しみの

先に見えるは

笑顔の子

愛知県 三河の空

がんに勝つ

生きがい求めて

感謝の日々

滋賀県 ひるねする夫

明日信んじ

抗ガン措置で

完治まつ

滋賀県 ひるねする夫

怖いのは

自分勝手な

思い込み

兵庫県 とくさん

がんなんか

悩むことない

医は進歩

兵庫県 はるみちゃん

ガンなどに

ビビッて人生

渡られぬ

兵庫県 こうちゃん

人生で

ガンより苦しみ

もつとある

兵庫県 おとみさん

妹に

稟と見せ逝く
姉の笑み

神奈川県 トシ

顔を見て

話す喜び

かみしめて

福岡県 ネコのミー

余命五年過ぎ

これから先は

生きる笑み

大分県 ガンバロー

ガンの死に

兄のわたしは

泣き明かす

大分県 つくし

検診で

見つけた癌に
妻の知恵

大分県

がんの芽に

除草剤まき

七年目

大分県 極楽とんぼ

治療後の

楽しみ妻と

プチ旅行

岡山県 桃太郎

がん完治

これから夢の

第二章

岡山県 桃太郎

ガンのこと

少し忘れる

八十六歳

大分県 ナダ

がん手術

四年経つのも

検査ゆえ

大分県

日々笑顔

四年生きるも

検査ゆえ

大分県

早期検診で

がんを取ったよ

今元気

大分県 寅次郎

恥ずかしい

痔疾と放置し

二センチに

岩手県 杞憂

内視鏡

おのれの眼でも

しかと視る

岩手県 杞憂

俺ガンだった

仏壇向かいて

報告し

大阪府 ほうすい

癌細胞

酒もタバコも

飲まぬのに

大分県

何故なのよ

癌と云われて

おどろいた

大分県

ガン検査

母の命日

受けてみる

秋田県
おでめ

ガンで知る

生まれた意味と

生きる価値

秋田県
おでめ

がんを知り

がんと向き合う

家族愛

大阪府
減点パパ

すぐ側に

名医に勝る

妻の笑顔

大阪府
減点パパ

ステージを

下げる目標

日々新た

宮崎県
アカエタカ

形勢は

不利でも最後は

ガンに勝つ

宮崎県
アカエタカ

寄り添いが

明日の糧にと

願い込め

埼玉県

繋がる輪

家族のカタチを

確認し

埼玉県

このガンが

家族の絆

強くする

福岡県

がんに嫌わした

イワの悲願に

好かしたイワ

青森県

ふでりんどう

全摘で

悩み悩んで

予後順調

奈良県

癌になり

医学の進歩に

日々感謝

奈良県

スタッフの

支えにほつと

なみだする

広島県
まろん

妹で

いさせてくれた

ベッド脇

山梨県
ジヨンけけ

兄妹で

思い出辿る

足早に

山梨県
ジヨンけけ

がんなどに

負けてたまるか
生きてやる

東京都

先生の

涙い顔見て
ガンを知る

三重県 KENさん

ガン検診

ナースの可愛さに
再受診

三重県 KENさん

あきらめず

信じてくれる
家族へ感謝

大分県 わる船

生き抜いた

長く短い
5年間

大分県 婚活羅民

抱いていて

欲しいとせがむ
ガン告知

兵庫県 修平

腹黒い

エコーにうつる
謎の影

福岡県 坊主薬剤師

告知受け

抗がん剤の
オードブル

福岡県 坊主薬剤師

全快を

愛する人が
待っている

静岡県 春爺

頑張ってる

有名人も
仲間うち

静岡県 春爺

治癒の芽を

明日に紡いで
春日向

岐阜県 アマリリス

大丈夫よ

長閑けき声に
癒される

岐阜県 アマリリス

孫子供

パワーみなぎる
面会者

静岡県

素っぴんも

笑顔に勝る
メイクなし

静岡県

癌発症

生きる喜び
身にしみる

愛知県 西区的ゆうばば

新薬で

治らなくても
未来あり

愛知県 西区的ゆうばば

ガン転移

痛いの痛いの

飛んでいけ

埼玉県

ガンになり

強気な親父

弱気なり

埼玉県

釈迦の手に

がンをゆだねて

浄土あり

東京都
高座扇

坊さまに

手を合わせられ

執刀医

東京都
高座扇

切らぬのも

1つの希望

九十路

愛媛県
ダイスの道化

がんに勝ち

雷やめて

家事親父

埼玉県

がんに勝ち

還暦過ぎて

孫の世話

埼玉県
といちゃん

さよならがん

平静に生きる

令和かな

埼玉県
といちゃん

負けないよ

がんで人生

諦めぬ

大阪府 豆助

成長を

させてくれたよ

がん告知

大阪府 豆助

怒ってばかりの父に

優しくなれない

我悲し

弱虫親父の娘

無理をして

作った笑顔に

怒鳴る父

弱虫親父の娘

ガンときた

がっちりキヤツ子チャー

ガンときた

愛知県

治療薬

当てに成らぬと

手術する

神奈川県

脊髄に

転移はなかった

好運児

神奈川県

癌予防

家族で語り

検診を

広島県 てる味

検診は

家族を守る

癌予防

広島県
てる味

癌検診

家族を守る

第一歩

広島県
よし得

まさより

もしかで受ける

検診は

広島県
よし得

立ち向かう

気概に家族

安心し

愛知県
澄海

手術後に

受けてよかった

R1

奈良県
大和の雨蛙

血尿を

気付き助かる

この命

奈良県
大和の雨蛙

がんなんて

笑顔で勝とう

かっどばせ!

岐阜県

人生の

一ページだよ

頑張ろう!

岐阜県

明日わが身

介護する人

される人

奈良県 よもやま話

ひらがなで

書いたがんなら

怖くない

奈良県 よもやま話

苦しいが

みんな待ってる

君の笑み

東京都 はぐれ雲

いったって

運・縁・勘を

見逃すな

東京都 はぐれ雲

怖がらず

ガンガンいこう

人間ドック

愛媛県 高橋キヌ子

舌切って

男は黙って

魅力増す

埼玉県

舌切って

脳活性化

投句する

埼玉県

「死ぬのって

怖くないよ」と

励まされ

和歌山県

前向きに

気力を持って

がんに勝つ

大分県 はまちゃん（がん歴20年）

激励に

令和生きぬき

礼とする

神奈川県 原田久美子

医は進歩

ガンは完治の

予定です

京都府 ひねた猫

悲観だめ

笑顔で語る

日も近い

京都府 ひねた猫

子や孫が

千日母の

ガんに克つ

岐阜県 清流

落ち込むな

子や孫に言う

ガンの母

岐阜県 清流

満月よ

治して欲しい

妻のがん

千葉県 中原政人

がんに負けぬ

生きる力を

背に示す

千葉県 中原政人

患者診ず

遺伝子を診る

がんの医者

大分県
いさお

A1が

がんを見つける

治療決める

大分県
いさお

肺がんを

抱えじいちやん

まだ達者

大分県
せつこ

がん消える

亭主二度目の

誕生日

大分県
せつこ

入院だ

パジャマでおしやれ

始めます

石川県
K

癌に勝つ

頑張らないが

諦めない

石川県
K

まだ生きる

あれもこれも

未体験

兵庫県
美代子

まだ生きて

家族の心

通い合う

兵庫県
美代子

岡病記

私の生きた
この証

兵庫県 おさり

癌封じ

カエルお守り
甦る

兵庫県 こみけん

唐泉寺

癌掛け絵馬に
励まされ

兵庫県 こみけん

尽きるまで

正気の母に
温かさ

栃木県

退院と

喜ぶ母に
手を合わせ

栃木県

プラシーボ

いいじゃないか
気休めで

兵庫県 鮎釣り一筋

気休めで

いいじゃないか
気休めが

兵庫県 鮎釣り一筋

”奇跡”のと

名の一つくものは
全部やる

兵庫県 バクヒロコ

私は癌

頑張らないが
諦めない

兵庫県 パクヒロコ

ベッドにて

要塞こしらえ

我が城だ

兵庫県 やじんこやじー

八百万

神や仏が

談義する

兵庫県 やじんこやじー

健診で

早めに退治

今笑顔

大分県 癌嫌疑

がんは敵

大事な嫁の
命食う

大分県 癌嫌疑

好きもの

食べて下さいは

怖過ぎる

大阪府 チコちゃん

それぞれの

体験たいけん談だんに

部屋へや和わむ

大分県 土手

速6年

されど年一

内視鏡

埼玉県 岩窟王

検診が

命を守る

ステージー

埼玉県 岩窟王

あきらめず

泣いて笑って

笑いが勝った

大阪府 アントニオ馬場

差し入れて

病院食を

僕が食べ

大阪府 アントニオ馬場

断ち切ろう

不安の連鎖

緩和ケア

北海道 倫太郎

手術して

ガンも不安も

取り除く

北海道 倫太郎

ガンど知り

親子の絆

強まりぬ

東京都

隠しても

本人悟る

がん告知

埼玉県 乳母車の孫七

がん治療

試練支える

家族愛

埼玉県 家族愛

がん治療

友の寄せ書き

アシストし

埼玉県 家族愛

細胞の

闘言葉は

許さない

愛知県 ばいなりい

サヨナラの

まだサあたりだ

がん告知

栃木県 山宗雲水

がん告げて

終わる娘の

反抗期

栃木県 山宗雲水



～がん患者の思いを川柳にのせて～ がん川柳の啓発活動



がん川柳表彰式



これまでのがん川柳啓発活動

がんチャリティーイベント
リレー・フォー・ライフ大分



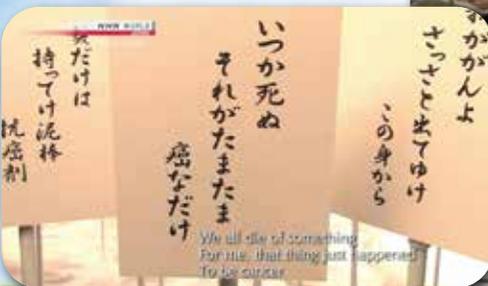
大分医療センター以外の
がんサロンで交流



外来フロア掲示



世界160ヶ国 テレビ放送



応募規約

【応募条件】

- ・作品の応募はおひとり様二点までとさせていただきます。
- ・二点を超えた応募の場合は選考対象となる二点を当主催者にて選定させていただきます。
- ・応募作品は応募者または第三者の個人情報が含まれていないものに限ります。

【作品取扱い】

- ・ご応募頂いた作品の著作権は著作者に帰属しますが、当主催者にはその使用权が許諾されます。
- ・当主催者は応募作品の作品集、もしくは書籍化、宣伝広告、ホームページなどにおいて無償で使用することができるとします。
- ・当コンテストに応募された作品の転載はご遠慮願います。

【作品制限】

- ・応募作品が以下の内容に該当すると当主催者が判断した場合、当主催者は事前の通知等なく展示をせず削減することができません。
- ・公序良俗に反している、またはそのおそれがあるもの。
- ・第三者の著作権その他の権利を侵害または、侵害するおそれのあるもの。
- ・第三者を誹謗中傷しているもの、またはそうとらえることができるもの。
- ・第三者のプライバシーの侵害、または侵害のおそれがあるもの。
- ・法令等の違反、またはそのおそれがあるもの。
- ・当コンテストの適正な運用の妨げ、またはそのおそれがあるもの。

あなたの一句を



日付 (/ /)

おわりに

最後まで読んで頂きありがとうございました。

このがん川柳集冊子の発行は、がんにまつわるエピソードや日頃の思いを、五・七・五の形式の川柳にのせて感情表出することで心のケアへ繋げることを目的として、二〇一五年三月に第一回目をがん川柳集を発行しました。今回で六回目となり、これまで院内配布・掲示は勿論のこと、がんチャリティーイベントやがんサロン、大分県内各地のがん相談支援センターでの配布など、様々なところで発信を続けることができています。がん川柳を通して多くのがん患者やがん患者を支えている家族、知人、支援者の方々の『がん』への思いを繋ぐことができ、改めて今回、第六回のがん川柳集を無事刊行できたことを嬉しく思います。本冊子も多くの方々に『がん』の思いを共有できることや皆さんの心の支えになつてくれることを願っています。本来であればもっと早くに皆様の

お手元にお届けするべきものでしたが、諸事情により発刊が大幅に遅れることになりました。楽しみに待つてくださっていた皆様に心よりお詫びを申し上げます。

最後に、本冊子をつくるにあたり、ご支援してくださつたがん川柳を応募してくれた方々やがんサロンに参加してくれた方々、がん川柳に触れ共感してくれた方々、そして病院のスタッフ等に厚くお礼を申し上げます。

がん相談支援センター

ローシャルワーカー 村上英恵
緩和ケア認定看護師 古田聡美

第六回

令和元年度

がん川柳集

がん川柳五・七・五

がん患者の思いを川柳にのせて

発行日 二〇二二年三月一日

発行・編集 独立行政法人 国立病院機構

大分医療センター

大分市横田二丁目十一番四十五号
電話 〇九七―五九三―一一一

